



2011年6月期 中間決算

お客さま志向の徹底で高い顧客支持率を維持

当社が得意とする「コストマネジメント」と「変化対応力」が推進される中で、お客さま志向を徹底した多彩な商品構成と絶妙な価格バランスが高い顧客支持率を維持し、大幅増益を達成しました。

売上高

2,555
億円

デフレ影響による価格競争が残る中、生活必需品については価格訴求を意識した対応に加え、顧客心理の改善傾向を先取りしたライフスタイル型商品の販売促進策に努めたことから、売上高は 2,555 億円（前期比 1.9%増）となりました。

営業利益

142
億円

当社が実践する「コストマネジメント」が、ますます安定感を増してきており、一方でお客さまニーズに適応した比較的利益率の高い商品群の販売シェアを高めたことから、営業利益は 142 億円（同 27.9%増）となりました。

経常利益

140
億円

営業増益効果と、営業外損益収支戻の改善（1.6億円のマイナス、前期は2.7億円のマイナス）の結果、経常利益は140億円（同29.5%増）となりました。

四半期純利益

75
億円

資産除去債務の計上や減損損失など特別損失 20 億円を吸収した上で、四半期純利益は 75 億円（同 23.8%増）となりました。

総資産

3,330
億円

MEGA ドン・キホーテへの業態転換及び販売好調に伴う商品在庫高の増加、並びに出店に伴う有形固定資産の増加などから、総資産は 3,330 億円（前期末比 309 億円増）となりました。

純資産

1,210
億円

転換社債の株式転換及び利益剰余金の積み増しにより、純資産は 1,210 億円（同 142 億円増）となりました。なお、自己資本比率は 35.9%となりました。

EPS

102
円

1株当たり当期純利益（EPS）は、第2四半期累計期間（中間決算）における過去最高益を更新したことから、102 円（前期比 14 円増、15.9%増）となりました。

ROE

13.9
%

自己資本当期純利益率（ROE）は 13.9%（年換算）となりました。

お買上客数

1億866
万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客さま（レジ通過客数）は、1 億 866 万人（同 108 万人増）となりました。

店舗数

226
店

新規出店はドン・キホーテ4店、MEGA1店、ドイツ3店を実施。グループ全体の店舗数は国内38都道府県222店舗、米国ハワイ州の4店舗を含めると226店舗となりました。

売場面積

629,989
㎡

2010 年 12 月末時点の売場面積は、2010 年 6 月末と比較して 27,264 ㎡増加し、629,989 ㎡（5.7%増）となりました。

中間配当金

10
円

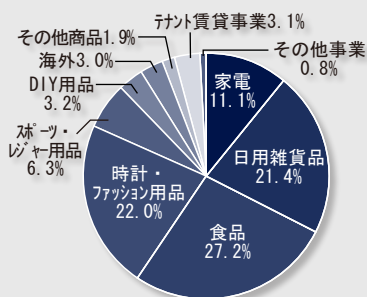
中間配当は 1 株当たり10円を実施しました。なお、中間配当を含めた年間配当は 1 株当たり25円を予定しています。

商品点数

5億9,986
万点

当社グループが当期間にお客さまの手許にお届けした商品点数は、59,986 万点（国内のみ）となりました。

商品分類別売上高構成比



株主数

4,854
名

株主数は前期末に比べて260名減少し、4,854名となりました。

株主分類別持株数構成比

